



コープさっぽろの環境対策

環境に関する国際規格ISO14001に基づき、'06年度も環境への配慮に取り組みました。

環境にやさしくを事業で実行

環境目的	No.	2006年度環境目標	実績	結果
宅配システムドックの配達効率をアップさせ、エネルギー資源を効率的に使用し、地球温暖化防止に寄与します	1	組合員1人あたり配送車両燃料使用量を0.5%削減します('05年度対比)	'06年度1月期現在、組合員1人あたり目標5.177ℓに対し5.015ℓで進行。29センターのうち20センター(69.0%)が目標を達成しました。29センター合計実績は、目標比96.9%で大幅に目標を達成しました	○
	2	利用組合員人数(利用率)向上を目指します	呼びかけ用トークを作成し、回収時に利用呼びかけを行い、未提出者への置手紙・電話がけを実施し、利用率'05年対比が99.51%(上期100.51%、下期98.57%)の結果でした	○
作業の効率を向上させ、エネルギー資源を効率的に使用し、地球温暖化防止に寄与します	3	事務センター業務のIT化により作業効率を改善します	宅配システムドックの利用履歴をデータベース化しました	○
	4	店舗計人時供給15,000円を目指します	15,000円を達成しました	○
	5	開センター時間を30分短縮します	1センターあたり45分短縮し、9カ月連続目標を達成しました	○
	6	人時生産性を把握し作業の見直し改善を行います	生鮮センター移転後の教育、作業見直し改善により、'06年秋に畜産部門、'07年1・2・3月で水産部門が前年の人時生産性を回復しました	○
電力を効率的に使用することで、エネルギー資源を効率的に使用し、地球温暖化防止に寄与します	7	店舗の供給100万円あたり使用電力量増加を抑制します(目標は'05年度電力使用量/'06年度供給予算。冷設増加店・改装店は、運用管理とします)	目標1083kwh/100万円に対し実績1078kwh/100万円目標を達成しました	○
店舗の食品廃棄物を削減し、資源エネルギーの効率的な使用と廃棄物発生抑制に取り組みます	8	生ごみ減量、廃棄ロス削減対策確立の方法を調べます	店舗で生ごみの重量の測定記録を行い、生鮮デiyリーの廃棄ロス額を集計しました	○
包材を効率的に使用します	9	トレーの実態把握を行います	容器包装の実態把握と見直しを行い、発注台帳を整理し、発注可能な容器包装の種類を1/2にしました	○
	10	適正なりサイクル・廃棄のための提案にむけ実態把握と事例研究をします	みやぎ生協のリサイクルセンター事例を見学しました	○
店舗の衛生水準を向上させ、食中毒などの事故発生による資源エネルギーの使用と廃棄物発生防止に取り組みます	11	サラヤ評価で全店が部門平均で90点以上	サラヤ評価で全店が部門平均で90点以上を達成しました	○
用紙を効率的に使用します	12	総務部/用紙使用量削減対策を支援します	2社のコピーカウンターを設置し使用量を測定し、コピーカウンター月次データニュースを発行しました	○
	13	函館地区本部/'05年度対比で5%削減します(月間3,000枚)	フォーラムでの文書配布を裏紙にし、達成しました	○
	14	人事・労政部/職場内は、会議のペーパーレス化を検討します	学習会でプロジェクターを使用して、電子文書の共有を実施しました	○

環境目的	No.	2006年度環境目標	実績	結果
用紙を効率的に使用します	15	共済・保険センター/新規加入申込書の不備枚数を2.5%以内にします('05年度対比0.5%改善)	実績3.6%。キャンペーンリーダーの学習会で不備削減を図りましたが、未達成でした	×
環境配慮商品や地産地消商品を普及拡大します	16	環境配慮商品を普及拡大します('05年度上位20品目の供給を105%伸張)	'05年度上位20品目の環境配慮商品の供給累計'05年対比112.0%と伸張しました。日生協のエコ商品キャンペーンに参加しました	○
	17	農業賞応募団体との取引規模を拡大します	店舗の売り場やドック媒体で、農業賞マークを使用し、農業賞応募団体取引金額'06年度2月期累計23,007万円	○
	18	環境配慮商品を普及拡大します(衣料関連)	売り場でウォームビズ、クールビズ、ウチエコの提案を行いました	○
	19	自動車保険「リサイクル特約」の普及、更新保険の対象件数の50%を目標にします(年間70件)	更新時の呼びかけを、職員だけでなく、組合員にも拡大し、大幅に目標を達成しました	○
職員の環境保全意識を高めます	20	システムを継続的に改善します	環境パフォーマンスを金額でも把握するため、データを取得調整しました。自覚教育用プレゼンファイルを作成し、新店から活用しています	○
	21	環境マネジメントを人事考課の評価項目へ取り込むことを、ISO事務局と相談して決めます	人事考課の業務態度評価にISOの項目を追加しました	○
	22	環境自覚教育は採用時教育の必須事項に位置づけます	採用時チェックリストにISOの自覚の有無を追加しました	○
	23	環境に配慮した生活スタイルや執務への啓発活動を、ISO事務局からの発信で進めます	COOP-NAVIで環境特集を11回掲載しました	○
環境を考える外部の方々との連携・協力をすすめます	24	外部団体からコープの環境活動への意見を集めます	CSR報告書は、総代会での組合員への配布だけでなく、生協会等で取引先に配布し、意見を集めました	○
コープの環境への取り組みを社会へ広く知らせます	25	環境報告書を作成します	3,400部配布しました	○
ノーレジ袋運動をすすめます	26	店舗のノーレジ袋運動参加率を向上させます(全体で10%)	'06年度累計は11.8%。ノーレジ袋運動の高まりとスタンプ方式からカードポイント方式に変更により目標を達成しました	○
環境に配慮した事業活動を目指します	27	コープの環境活動に関する組合員アンケートを実施します(回収500枚)	秋の集い参加者を対象に第3回環境意識調査アンケートを実施し、932枚回収しました	○
身近な環境問題を知る活動を推進します	28	環境の取り組みへ参加する家庭を増やします(延べ100家庭参加)	「省エネチャレンジ」コマメ生活にチャレンジ参加家庭は127件。加えて、親子でエコ調理前期15組33名、後期17組39名が参加しました	○
植樹活動に取り組みます	29	道内各地域で植樹活動に積極的に参加します	植樹活動は旭川、函館、釧路など5地域からの参加で上磯、当別、野付で実施し、植樹の草取り作業も実施しました	○

○ 達成 × 未達成